

学校名

南城市立玉城中学校

連絡先 TEL : 098-948-7105

Eメール : tamachu-kyoutou@edu.nanjo.okinawa.jp

タイトル：「主体的・対話的で深い学びを目指す学校づくり」

1 実践事項

【実践事項① 地域資源の活用】

家庭や地域と連携し、各教科・職場体験学習・平和集会等で、地域の「人材」「自然」「文化」「産業」を活用した学習を行う。

【実践事項② 学習環境の充実】

職員全体の共通理解のもと、日常の授業の中で共通実践事項の徹底を行い、支持的風土のある学級づくりを目指す。

【実践事項③ 確かな学力の充実】

学力向上マネジメントを機能させることにより、学力向上の具体的な到達目標を共有し、手立ての明確化・徹底した取り組み、評価と連動した改善を行うことで、実践意欲を高め、学校全体で授業改善を推進し、生徒の学力の向上を図る。

【実践事項④ 校内研修の充実】

校外・校内研修と教科会・学年会を連動させ、目指す授業像の共有により授業改善・授業力向上を図るとともに、その具現化として一人一公開授業および研究授業参観の徹底を行う

【実践事項⑤ 「学級活動・生徒会活動の充実」】

支持的風土をつくる学級経営・生徒指導の三つの機能を生かした授業の日常化・学びに向かう集団づくりを進める学級活動及び生徒会活動の充実等により、自主性を高める取組を実践し、互いに高め合える集団づくりを図る。

2 実践内容

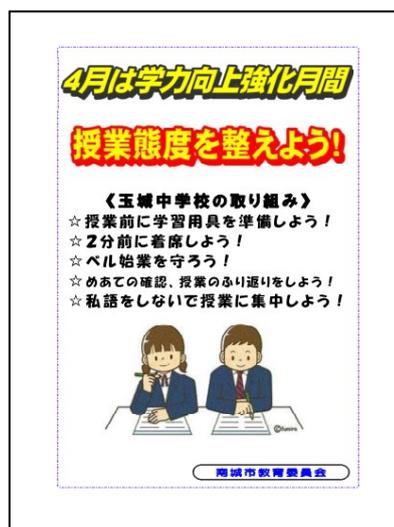
【実践事項① 地域資源の活用】

- ①6月：奥武島海神祭（ハーリー）にて地域の一員としての自覚と郷土への愛着を育む。
- ②6月：平和学習会を通じて平和の尊さを学ぶ。
- ③10月：地元の小売店で職場体験。



【実践事項② 学習環境の充実】

- ①集会や授業の前に学習用具の準備を済ませ「2分前着席」「1分間黙想」を実施し、気持ちを落ち着けて集中力を高めてから授業に臨む。
- ②学習支援ボランティア「ミントウンの会」の補習授業(数学・英語)
- ③大学生による放課後学習ボランティア



【実践事項③ 確かな学力の充実】

- ①『学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ』『「問い」が生まれるサポートガイド』等を活用した授業の構築を図るため、一人一授業の公開と参観をすすめる。
- ②学力向上強化月間(4月・9月・1月～3月)にて、家庭学習の習慣化と基本的生活習慣の形成を図る。
- ③曜日ごとに教科それぞれの課題を用意し、授業と連動した家庭学習の時間を確保させた。家庭への協力を依頼し子どもたちの頑張りを褒め、次の取り組みへの意欲を持たせる。

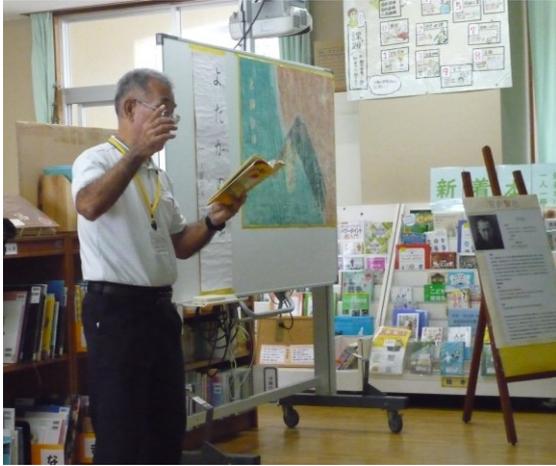
【実践事項④ 校内研修の充実】

- ①校内研修の研究主題『主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善』に沿って授業づくりを教科研究部会で検討、実践を行った。
- ②また、本年度は、指導主事招聘授業を5名の教諭が行った。授業者は、授業プランシートを作成し、授業を公開する。特に今年度は、より生徒の理解を深め学習意欲の向上につなげるため、ICT機器(新型電子黒板・クロムブック)等を取り入れた授業の実践を意識した。



3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）

- ①学習支援ボランティア「ミントウンの会」^{いりけだもと}入慶田本 昌義氏による
「3年生へ贈る朗読会」



- ②保護者による「朝の読み聞かせ」



- ③マナー講習会



4 成果

- 家庭学習強化月間では、曜日ごとに教科を決め、授業と連動した課題を与え、学習することができた。
- 各主任や教科担当と連携し、学習支援を必要とする生徒を抽出できた。
- 一人一公開授業をすることで、教師一人一人の授業に対する意識が高まり、授業改善が推進されている。
- 教育委員会の地域コーディネーターや学習支援ボランティア「ミントウンの会」と連携ができた。
- 学習支援を受けた生徒から「分かりやすい」「個別で支援してもらえるのでいい」との声があった。

5 課題

- 正答率が30%未満の生徒の基礎的・基本的な力を伸ばすための手だてや支援策。
- 「2分前着席」「1分間黙想」といった共通実践事項が徹底できていない場面があった。
- クロームブックの正しい使い方が徹底できていない。